

授業科目	保育内容 ことば				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21615J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP5-2			
担当教員	上村 眞生							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】  実務家教員として、保育所における日常的な子どもの言葉環境を活用した保育の展開について講義を行う。  子どもの心身の発達や一人一人に応じた適切なかわりを考察しながら、ことばの持つ意味や、子どもの言葉の育ちについて学ぶ。  保育内容ことばに関する児童文化財とその活用方法を学びながら、学生自身のことばに対する基本的姿勢を見つめ、保育者として子どもにとって豊かな環境となるように、ことばの表現力を身につける意識を持つことを目標とし、授業を展開する。  授業は遠隔で実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の子どものことばの育ちの過程について理解する</li> <li>・子どものことばの育ちを支える保育について、様々な事例をもとに考察することができる</li> <li>・子どものことばの育ちを支える児童文化財について理解する</li> <li>・保育内容「ことば」のねらいと内容について理解し、実践できる</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	50	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)				20	20		40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				5	5		10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)				20	20		40	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				5	5		10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の子どものことばの育ちの過程について理解し説明できる</li> <li>・子どものことばの育ちを支える保育について、様々な事例をもとに考察することができる</li> <li>・子どものことばの育ちを支える児童文化財について理解し、活用できる</li> <li>・保育内容「ことば」のねらいと内容について理解し、実践できる</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の子どものことばの育ちの過程について理解する</li> <li>・子どものことばの育ちを支える保育について、様々な事例をもとに考察することができる</li> <li>・子どものことばの育ちを支える児童文化財について理解する</li> <li>・保育内容「ことば」のねらいと内容について理解し、実践できる</li> </ul>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の進行方法・評価方法について説明する	講義	最終課題の選択	540(半期間かけて取り組む)
2	「領域 表現」 5領域の中での「表現」の位置づけについて解説する	講義	予: 保育所保育指針の関連部分の確認 復: 課題を提示する	30
3	乳幼児の言葉1 乳幼児の言葉に関する発達について解説する	講義	復: 課題を提示する	30
4	乳幼児の言葉2 乳幼児の言葉の発達を促すための、保育者としての言葉の重要性について解説する	講義	復: 自身の表現技法について振り返り、スキルアップのための練習をする	30
5	保育計画の立案1 言葉に関する保育計画立案のために必要な基礎的知識について解説する	講義	復: 乳幼児の発達について復習しておく	60
6	保育計画の立案2 言葉に関する部分保育指導案の作成方法を解説する	講義	予: 自身が行う模擬保育の指導案を作成する	60
7	保育内容言葉における児童文化財1 保育内容の言葉において関連するさまざまな児童文化財について解説する	講義 グループワーク 児童文化財を使用	復習; 授業内容をノートにまとめる	30
8	保育内容言葉における児童文化財2 保育内容の言葉において関連する児童文化財について解説する(絵本、紙芝居、素話等)	講義 グループワーク 児童文化財を使用	予習; 児童文化財について調べる 復習; 授業内容をノートにまとめ、学んだ児童文化財について調べる	60
9	保育内容言葉における児童文化財3 保育内容の言葉において関連する児童文化財について解説する(ことばあそび、なぞなぞなど)	講義 グループワーク 児童文化財を使用	予習; 児童文化財について考えてくる 復習; 授業内容をノートにまとめ、学んだ児童文化財について調べる	60
10	テーマ: 保育内容言葉における児童文化財の製作1 保育内容の言葉に関する児童文化財の製作について解説し、制作を行う	演習 制作	予習; 制作する児童文化財について考えて、材料を準備してくる 復習; 授業内容をノートにまとめ、制作活動を行う	120
11	テーマ: 保育内容言葉における児童文化財の製作2 引き続き保育内容の言葉に関する児童文化財の製作について解説し、制作活動を行う	演習 制作	予習; 児童文化財を制作する 復習; 授業内容をノートにまとめ、制作活動を行う	120
12	模擬保育1 言葉に関する模擬保育を行う【A グループ】	演習	予: 模擬保育の準備をしておく	60
13	模擬保育2 言葉に関する模擬保育を行う【B グループ】	講義 演習 具体的に指導案作成をする	予: 模擬保育の準備をしておく	60
14	模擬保育3 言葉に関する模擬保育を行う【C グループ】	講義 グループワーク	予: 模擬保育の準備をしておく	60
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>子どもを取り巻く言葉環境に興味関心を持ち、情報収集すること。          自らのことばについて振り返り、子どもにとっての豊かなことば環境となるよう、自らのことばを日々意識すること。          聞く力の育成を目指すため、必要な情報を聞き、記録できるようにすること。          児童文化財制作は制作時間等個人差があるため、自らが必要とする制作時間(授業外時間)を確保すること。</p>			
テキスト	<p>保育所保育指針解説書          幼稚園教育要領解説</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>適宜紹介する</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>課題毎の達成度および、模擬保育の内容で評価する(50点)。          提出物、指導案の内容で評価する(50点)。</p>			

